

# 若宮小だより 特別号

令和5年10月11日  
若宮小学校

4月18日(火)に6年生を対象として「令和5年度全国学力・学習状況調査」が実施され、その調査結果が8月下旬に公表されました。その結果を活かし今後の改善を図っていくために、学校としての主な課題とその改善策などを合わせて報告させていただきます。

## 《学力状況調査の結果》

### 国語

2三のような情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を問う項目に関しての正答率は高いです。しかし、文章から読み取ったことを要約することや情報の取捨選択、既習漢字から文章に合う漢字を正しく使う項目の正答率は低かったです。特に、条件に合うように工夫して文章を考える問題になると、本校の児童は難しく感じているようです。文の読解力や自分の考えが伝わるように書き方を工夫して表出していく力を育成していく必要があると結果から分かりました。

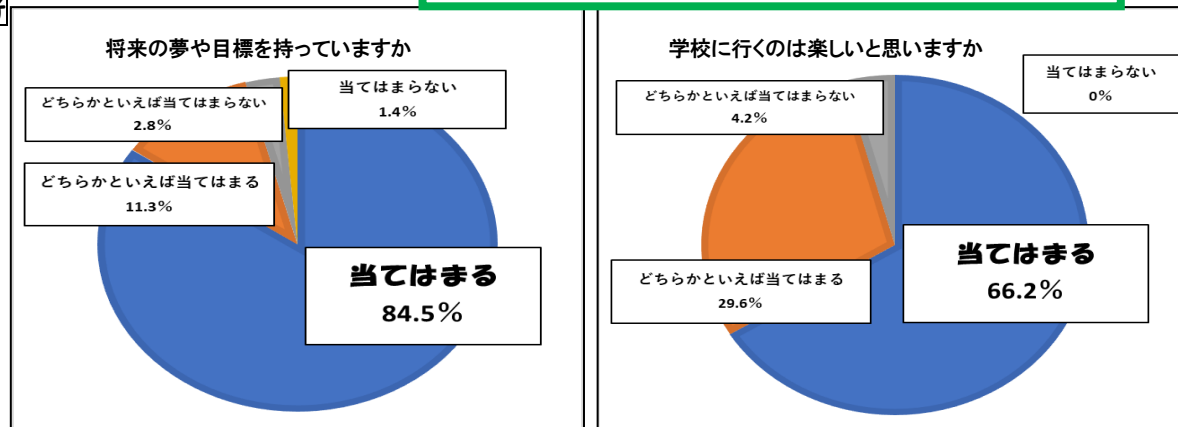
### 算数

「伴って変わる二つの数量と変化の関係」の問題では、変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求める知識・技能の正答率は高いです。しかし、その知りたい数量の求め方を式や言葉を使って記述する問題となると正答率が低くなっていました。また、兵庫県、全国も同じ傾向があるのですが、「図形」の問題に苦戦したようです。3年生で学習した正三角形・二等辺三角形、4年生での角度・平行・台形、5年生での三角形の面積の求め方の学習内容から出題されていました。多学年にわたる学習内容が混ざっていると、既習した知識を活用して解き進んでいくことが苦手であることがわかりました。

## 《児童質問紙調査の結果》

当てはまる・どちらかといえば当てはまるを合わせると、  
どちらも **95.8%** になります。

### 良好

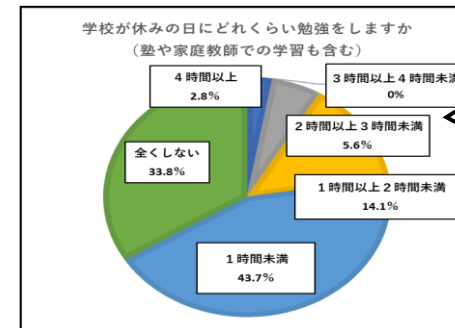


他にも……

- ・先生は自分たちの良いところを認めてくれる……………93.0%
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う……………97.1%

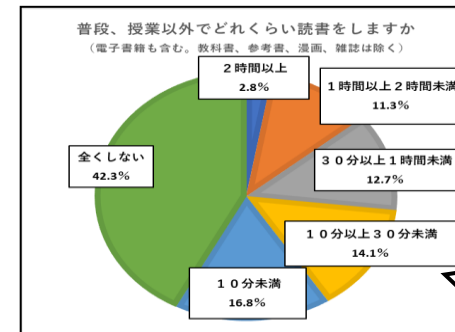
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う……………97.2%
- ・今住んでいる地域の行事に参加している……………80.3% (県平均よりも約22p高い)

### 課題



### 休日の学習時間が少ないようです

休日に2時間以上学習をしている児童は全体の8.4%にとどまっています。これは、全国、県平均と比較すると15ポイント程度下回る結果となっています。また、全くしないと答えた児童が33.8%、1時間未満と答えた児童が43.7%、合わせると77.5%になっています。



### 読書の習慣をつける必要があります

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)の読書時間が10分未満と答えた児童は、59.2%で、全国平均と比較してみると約20ポイントの差があります。また、全く読書をしないと答えた児童が42.3%もいます。

## 《今後の改善策》

学習面においては、資料から問題点を見つけ、その解決方法を書く問題や、テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書くといった記述の問題に課題がみられます。資料から必要な情報を読み取り、考えをまとめ、表現するといった「思考力・判断力・表現力」を伸ばしていくために、多様な考え方が可能な問題提示を行い、個々に深める時間を確保し、思考の過程を表現する学習を進めていきます。また、読む力・書く力・話す力を鍛えるため、授業において自分の考えを発表したり、記述したりする機会を多く確保し、相手に伝わるよう、わかりやすく構成を工夫して表現することを指導していきます。加古川市では平成30年度より、東京大学大学院教育学研究科の藤村宣之教授が提唱している、児童一人一人が自分で答えを形成するための支援ができる学習法である「協同的探究学習」を進めています。本校でもこの学習法の研究をさらに深め、問題解決の見方・考え方を育成する授業を進めていきます。

質問紙では、休日の学習時間や普段の読書習慣に課題がみられました。今後も継続して家庭学習や読書の大切さを伝え、計画的に学習や読書に取り組む習慣を身につけさせるようにしていきます。また、家庭学習や読書の習慣を身につけさせるためには、ご家庭のご協力も大切になります。積極的な声掛けや励ましなどをよろしくお願いいたします。

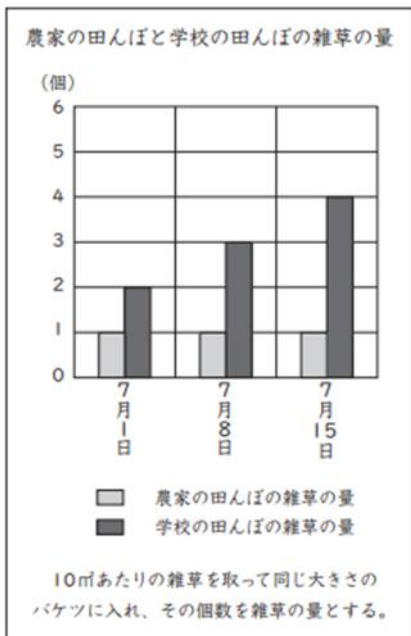
良好項目では、若宮地域の特色である、地域の行事に参加している児童の割合が全国、県と比較しても約22%高くなっています。地域行事や地域の方々に見守られて成長していることが分かります。また、毎年10月に行っている『わかみや人権週間』の成果もあり、学校のきまりや約束を守ったり、いじめに対する正しい認識をもったりする人権意識の基礎が培われている児童が多いことが分かります。今後も、児童に寄り添い、日々の変化を直接のかかわりの中や、日記、アンケート等で早期に発見することで、お互いに心の通った教育活動を進めていけるよう全職員が一丸となって取り組んでいきます。

さらに、本校の教育目標である『すこやかで、創造的に生きようとする児童の育成』のためには、保護者の皆様、地域の方々の力が不可欠です。今後も若宮小学校の教育にご理解ご協力よろしくお願いいたします。

# やや苦手な問題

## 国語 問題1の二

## 算数 問題2の(4)



### 【カード④】

7月20日  
 [農家の石山さんのお話]  
 ・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。  
 ・雑草が多いと、いねが病気になることがある。  
 ・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

### 【カード⑤】

7月21日  
 [学校でできる解決方法]  
 ・雑草取りの回数を増やす。  
 ・雑草取りの人数を増やす。

この問題の正答条件として、

- ① 学校の米作りの問題点について、【川村さんの文章】のグラフや【カード④】からわかることを書いている。
- ② 問題点の解決方法について【カード⑤】をもとに書いている。
- ③ 60字以上 100字以内で書いている。

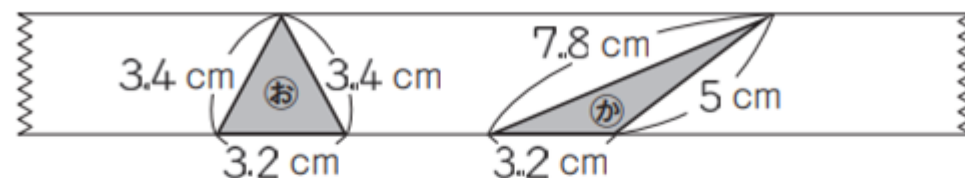
以上の3つの条件を満たしていることで正答になります。条件②、③を満たしていたが、条件①の【川村さんの文章】のグラフについて書けていなかったり、【カード④】について書けていなかったりということが多く見られました。このことから、必要な情報を条件に合うように取り出し、要約する力が課題だと考えられます。今後は国語科の授業でも情報を取捨選択し、自分の考えをまとめる取り組みを進めていきたいと思ひます。

○ ○ ○ (条件)  
 ○ 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ(農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。  
 ○ 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。  
 ○ 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の [ ] に学校の米作りの問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、 [ ] に書く内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

1 川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、「川村さんの考え」と川村さんが選んだ「カード①」から「カード⑤」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような①と②の2つの三角形をつくります。



上の①と②の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ①の面積のほうが大きい。
- 2 ②の面積のほうが大きい。
- 3 ①と②の面積は等しい。
- 4 ①と②の面積は、このままでは比べることができない。

選択式の正答は、3の「〇おと〇かの面積は等しい」です。記述式の正答例は、「三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。〇おと〇かの底辺は、どちらも3.2 cmなので等しいです。〇おと〇かの高さは、テープの幅がどこも同じ長さなので等しいです。(問題2の初めの問題文より)だから、〇おと〇かの面積は等しいです。」となります。記述式では、「〇おと〇かの底辺の長さが等しいことを表す言葉や数」と、「〇おと〇かの高さが等しいことを表す言葉」の両方をかいていることが必要です。既習の底辺の長さが高さが等しかったら、面積も等しくなることを理解していても、それを算数科の学習では、論理的に考えを進めていき、さらに「AだからBになる」のように、Aという理由及びBという結論を明確に記述していくことが大切です。知識を使って論理的に思考していき、理由を記述する学習を今後も進めていきます。